

日本学術会議 健康・スポーツ科学分科会公開シンポジウム 「スポーツとは何か ～スポーツを取り巻く情報とテクノロジー～」

【概要説明】

スポーツを取り巻く環境は著しく変化している。そこで本分科会では「スポーツとは何か」という根源的な問いに改めて向き合い、議論をしていく（全3回の開催を予定）。はじめに、スポーツを取り巻く情報とテクノロジーについて取り上げる。

近年、センシング、機械学習、バーチャルリアリティ（VR）といった情報処理技術のスポーツ分野への導入が急加速しており、選手、チーム、審判、メディア、ファンそれぞれの在り方に一大変革をもたらしている。本シンポジウムでは、試合データの統計的分析に基づいて選手評価や戦略立案を行う「スポーツアナリティクス」、選手やボールのトラッキング技術を利用した「AI審判」、計測機器やVRなどを利用した技能トレーニング、脳や身体の生理情報の解析によるメンタルコンディショニング、急拡大するeスポーツやアクティブビデオゲームなどのトピックスに関して最新の話題を提供いただき、情報技術がスポーツ、ひいてはウェルビーイングをどう変えるか、可能性と課題について議論する。

【概要】

日 時：令和7（2025）年6月21日（土）13：00 ～ 16：45

開催地：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）（ハイブリッド）

対 象：どなたでも参加いただけます（事前申込）

定 員：300名（会場）

主 催：日本学術会議健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会

共 催：日本スポーツ体育健康科学学術連合（JAASPEHS）

後 援：公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、一般社団法人日本体育・スポーツ・健康学会、一般財団法人上月財団、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会
（以下、申請中）
公益財団法人日本パラスポーツ協会

【プログラム】

13:00 挨拶

山口 香（日本学術会議第二部会員／筑波大学体育系教授）

13:05 趣旨説明

柏野 牧夫（日本学術会議連携会員／日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー）

第1セッション「情報テクノロジーをスポーツに生かせるか？」

◇第1セッション司会

神崎 素樹（日本学術会議連携会員／京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

13:35 『AIを用いた集団スポーツのデータ解析』

藤井 慶輔（名古屋大学大学院情報学研究科准教授）

14:05『データと AI で拓くカーリング競技支援』

相原 伸平(独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター国立スポーツ科学センター研究員)

休憩 (10 分) (14 : 35~14 : 45)

第 2 セッション「情報を用いたスポーツとウェルビーイングへの応用」

◇第 2 セッション司会

中村 真理子(日本学術会議連携会員／独立行政法人日本スポーツ振興センターハイパフォーマンススポーツセンター国立スポーツ科学センター副主任研究員)

14:45『ソフトボールの勝利を支えるデータ分析と最新テクノロジーの活用』

大田 穂(順天堂大学スポーツ健康科学部助教)

15:15『ウェアラブルやアクティブビデオゲームによる健康づくり』

宮地 元彦(日本学術会議連携会員／早稲田大学スポーツ科学学術院教授)

休憩 (10 分) (15:45~15:55)

総合討論

15:55 (50 分間)

司会：神崎 素樹(日本学術会議連携会員／京都大学大学院人間・環境学研究科教授)

指定発言者 稲見昌彦(東京大学先端科学技術研究センター教授)

宮下 紘(中央大学総合政策学部教授)

近田怜王(京都大学硬式野球部監督)

16:45 閉会

宮地 元彦(日本学術会議連携会員／早稲田大学スポーツ科学学術院教授)

申し込み：以下のリンク先申込フォームより、申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1M6FBEZ1CoPWAKvx8nAqZ82hd59yhgF2A9h6IumFoYa0/edit>

問い合わせ先：京都大学大学院人間・環境学研究科 神崎研究室

E-mail: [neurolab.ku\(a\)gmail.com](mailto:neurolab.ku(a)gmail.com) ※(a)を@にしてお送り下さい。